「日本刺繍夏休み親子体験教室」は、特別講師として本学の刺繍の指導をしていただいている重要無形文化財保持者（刺繍）福田喜重先生のご指導のもと、伝承者養成会実行委員会が主催し、2013 年度に文化庁文化芸術振興費補助金（文化遺産を活かした地域活性化事業）事業として始まりました。

2015 年度からは文化庁の伝統文化親子教室事業となり、短期大学部・芸術学部の刺繍卒業生の教員が指導を継承し、小学生親子対象の伝統文化としての刺繍体験教室として現在に至ります。開催にあたっては中央区と中央区教育委員会に後援いただき、区立小学校生全員に募集案内を配布しています。

昨年度は新型コロナ感染拡大のため中止しましたが、今年度は感染防止対策を徹底して 7 月 25 日から 8 月 14 日まで 4 日間の教室を実施しました。

講師は、本学客員教授 岡田宣世、学部非常勤助手 藤田千鶴、工芸専攻非常勤講師 牟田有紗、事務局兼務で元非常勤講師 内田桃子が担当。85 組の応募の中から抽選を行い 12 組の親子（1 年生から 5 年生）さんが参加されました。

子供たちは「金箔と刺繍によるポーチ」、親御さんは「波をモチーフにしたブローチ」を制作。感染防止対策のため、体験時間を短時間に設定しましたが、テキストを充実させて宿題をプラスしたことによって、最終日には個性的な楽しい作品が完成しました。

親子ともに、刺繍の技術だけでなく、日本の伝統模様や飛鳥時代からの日本刺繍の歴史的作品の紹介などにも興味を持っていただきました。「とても楽しかった。」「もっと刺繍をしてみたい。」「日本刺繍の材料の入手場所は？」などなどの声があがり、スタッフ一同嬉しく最終回を終えることができました。

【親：波をモチーフにしたブローチ】

（親作品写真_1）

（親作品写真_2）

【子供:金箔と刺繍によるポーチ】

（子供作品_１）

（子供作品_２）

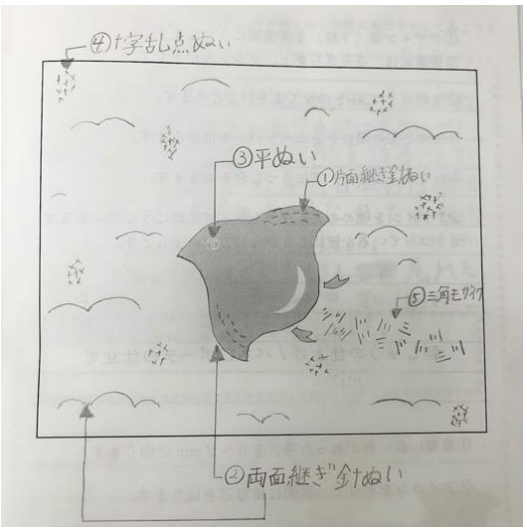
（子供作品_3）

（子供作品_4）

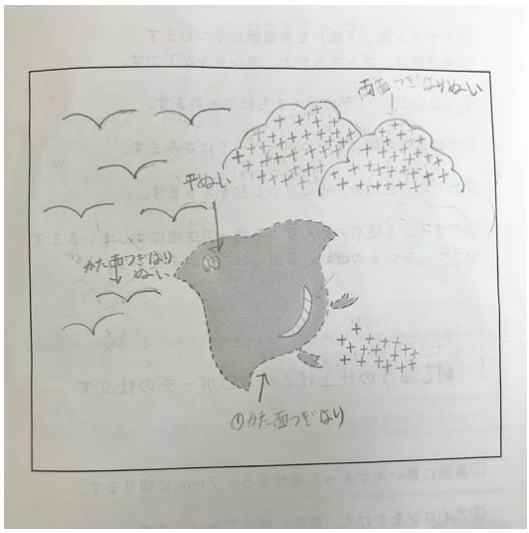
（子供作品_5）

【子供のデザイン画】

（子供デザイン画_1）

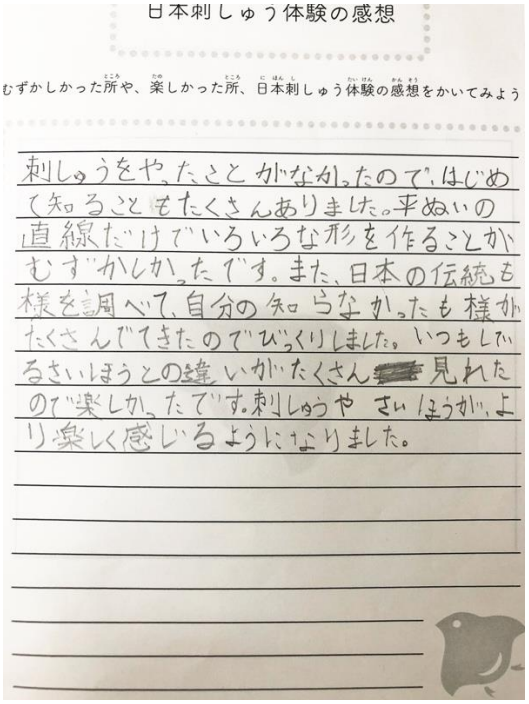


（子供デザイン画_2）



（子供デザイン画_3）

【子供日本刺繍体験教室の感想】

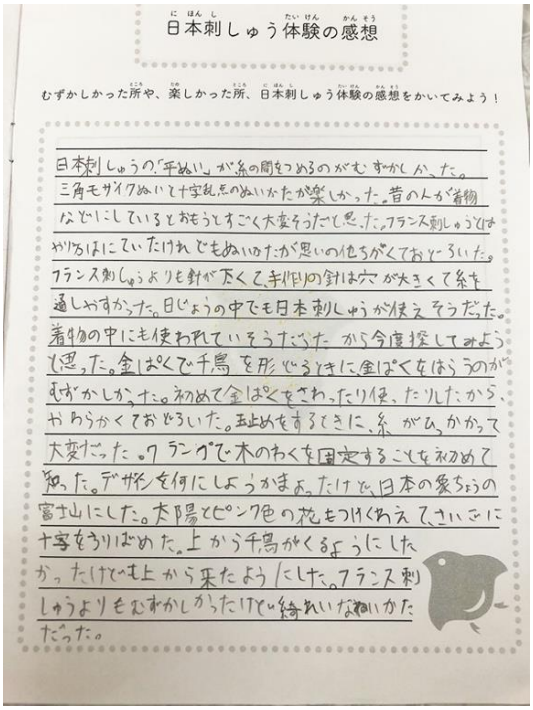


日本刺しゅう体験の感想

むずかしかった所や、楽しかった所、日本刺しゅう体験の感想をかいてみよう

刺しゅうをやったことがなかったので、はじめて知ることもたくさんありました。平ぬいの直線だけでいろいろな形を作ることがむずかしかったです。また、日本の伝統も様を調べて、自分の知らなかったも様がたくさんでてきたのでびっくりしました。いつもしているさいほうとの違いがたくさん見れたので楽しかったです。刺しゅうやさいほうが、より楽しく感じるようになりました。

（子供感想_1）

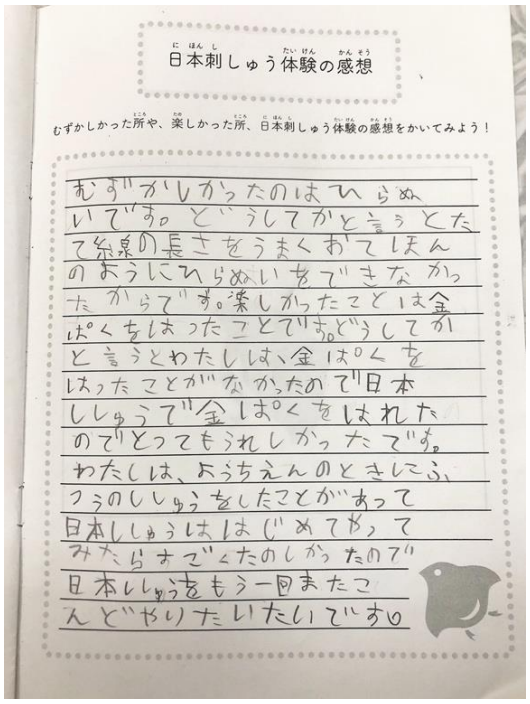


日本刺しゅう体験の感想

むずかしかった所や、楽しかった所、日本刺しゅう体験の感想をかいてみよう！

日本刺しゅうの「平ぬい」が糸の間をつめるのがむずかしかった。三角モザイクぬいと十字ねたのぬいかたが楽しかった。昔の人が着物などにしていると思うとすごく大変そうだと思った。フランス刺しゅうではやりなおしていたけれどもぬいかたが思いの他ちがくておどろいた。フランス刺しゅうよりも針が太くて手縫いの針は穴が大きくて糸を通しやすかった。日じょうの中でも日本刺しゅうが使えそうだった。着物の中にも使われていそうだったから今度探してみようと思った。金ぱくで千鳥を形づくるときに金ぱくをはらうのがむずかしかった。初めて金ぱくをさわったり使ったりしたからおわらかくておどろいた。玉止めをするときに、糸がひっかかって大変だった。クランプで木のわくを固定することを初めて知った。デザインを何にしようかまよったけど、日本の象ちょうの富士山にした。太陽とピンク色の花もつけくわえてさいごに十字をうりはじめた。上から千鳥がくるようにしたかったけども上から来たようにした。フランス刺しゅうよりもむずかしかったけど綺れいなぬいかただった。

（子供感想_2）



日本刺しゅう体験の感想

むずかしかった所や、楽しかった所、日本刺しゅう体験の感想をかいてみよう！

むずかしかったのはぬらぬいです。どうしてかと言うとたて糸の長さをうまくおてほんのようにぬらぬいをできなかったからです。楽しかったことは金ぱくをはったことです。どうしてかと言うとわたしは金ぱくをはったことがなかったので日本ししゅうで金ぱくをはれたのでとってもうれしかったです。わたしは、ようちえんのときにふつうのししゅうをしたことがあって日本ししゅうははじめてやってみたらすごくたのしかったので日本ししゅうをもう一回またこんどやりたいたいです。

（子供感想_3）

「子供感想 1」
・刺繍をやったことがないので、初めて知ることがたくさんありました。
「平縫い」の直線だけで色々な形をつくる事が難しかったです。また、日本のもようを調べて、自分の知らなかった、もようが沢山でてきたのでびっくりしました。いつもしている、裁縫との違いが沢山見れたので楽しかったです。刺繍や裁縫がより楽しく感じるようになりました。（小学校 4 年生）

「子供感想２」
・日本刺繍の「平縫い」が糸の間をつめるのが難しかった。
「三角モザイク縫い」と「十字乱点縫い」が楽しかった。昔の人が着物などにしていると思うとすごく大変そうだと思った。フランス刺繍とはやり方は似ていたけれども、縫い方が思いの他、違くて驚いた。
フランス刺繍よりも、針が太くて、手作りの針は穴が大きくて糸を通しやすかった。
日常の中でも、日本刺繍が使えそうだった。着物の中にも使われていそうだったから、今度探してみようと思った。金箔で千鳥をかたどる時に、金箔を払うのが難しかった。
初めて金箔を触ったり、使ったりしたからやわらかくて驚いた。玉留めする時に、糸が引っかかって大変だった。クランプで木枠を固定することを初めて知った。
デザインを何にしようか迷ったけど、日本の象徴の富士山にした。太陽とピンク色の花もつけ加えて、最後に十字（乱点縫い）を散りばめた。上から、千鳥が来るようにしたけども、上から来たようにした。フランス刺繍よりも難しかったけど、綺麗な縫い方だった。
（小学校 4 年生）

「子供感想 3」
・難しかったのは平縫いです。どうしてかと言うと線の長さをうまくお手本のように平縫いをできなかったからです。楽しかったことは金箔を貼ったことです。どうしてかと言うと私は金箔を貼ったことがなかったので日本刺繍で金箔を貼れたのでとっても嬉しかったです。私は、幼稚園の時に普通の刺繍をしたことがあって、日本刺繍は初めてやってみたらすごく楽しかったので、日本刺繍をもう一回また今度やりたいです。（小学校２年生）